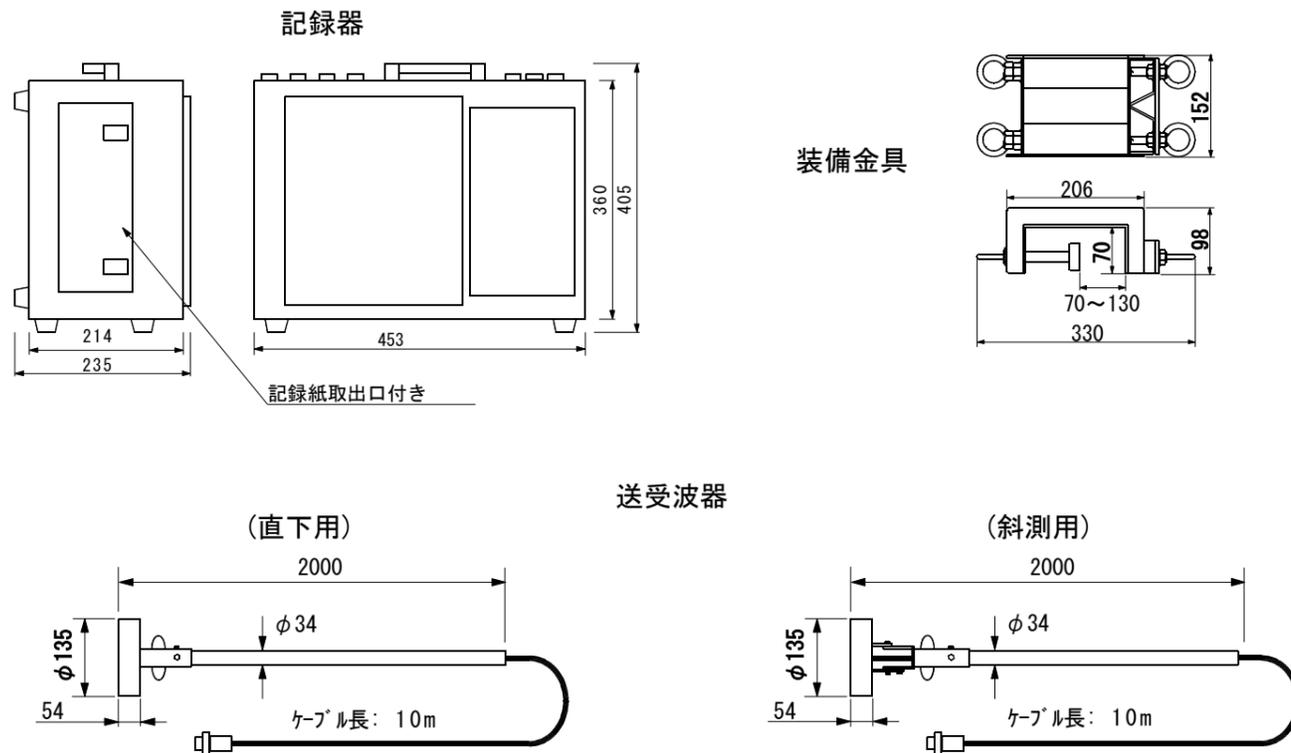


■構成

品名	数量	重量(kg)	記事
記録器	1	13.0	電池重量約3kg
送受波器(直下)	2	7.0×2	φ34 sus <sup>17</sup>
送受波器(斜測)	2	8.0×2	φ34 sus <sup>17</sup>
上記用装備金具	4	3.0×4	ステンレス製
電源線	1	0.3	ケーブル長3m
外付マーク押釦スイッチ	1	0.5	ケーブル長5m
RS-232C ケーブル	1	0.3	ケーブル長3m
充電器	1	1.5	AC100V専用
補用品	1	1.0	電源ヒューズ他

■外形寸法図



# 精密音響測深機 PDR-8000S

〈音響掃海機 PDR-8000S型〉



 千本電機株式会社

本社工場 〒410-0011 静岡県沼津市岡宮1299の3  
TEL (055) 923-6660 (代)  
FAX (055) 923-2880

改良の為に予告なしに仕様変更をすることがあります。(本カタログは第13版です)

 千本電機株式会社

## ■ 概要

本機は港湾、水路等の浅海域専用の4方向型精密音響測深機で、従来のアナログ記録と共に4方向の各チャンネルのデジタル水深値が得られます。感熱記録方式の採用により、小型軽量、低消費電力化を実現しました。

## ■ 特徴

1. 小型軽量、低消費電力  
重量は13kg(内蔵電池除く)と軽量で持ち運びが容易です。  
又、内蔵電池で約5時間使用可能です(描画状態により異なります)。
2. 感熱記録紙の採用  
感熱記録紙の使用により、記録ペンが不要となり、放電破壊紙による匂いからも解放されました。
3. ニヤエッジヘッドの採用  
記録用の感熱ヘッドには、新たにニヤエッジ型の感熱ヘッドを採用し、記録描画の遅れを、最大限解消しました。
4. 広範囲記録紙  
記録紙幅が257mmと広く、レンジ幅が広く取れるのでレンジ切替回数も少なく記録が見やすくなります。
5. 自動感度調整  
マイコン制御により、深度変化による感度調整が不要となり、併せてデジタル取得値の精度も向上します。
6. 記録紙上に印字  
記録紙上に水深値、水深レンジ、音速補正值、時刻が必要に応じ印字する事ができ、外部から文字入力もできます。
7. 各操作をワンタッチで切替え  
LCD画面を見ながら、各操作スイッチで操作がワンタッチで行えるので取り扱いが容易です。
8. 快適な 個別記録/遅延量 操作  
各チャンネル個別記録 ON/OFF 操作と遅延量操作は、別個にスイッチを設け、PDR-601型 以上に快適な操作感覚となっています。
9. 記録部停止時でも測深が可能  
アナログ記録停止時でも、デジタル測深とRS232C出力が可能です。
10. 時計機能  
定期的に時刻マークや、時刻を印字できます。

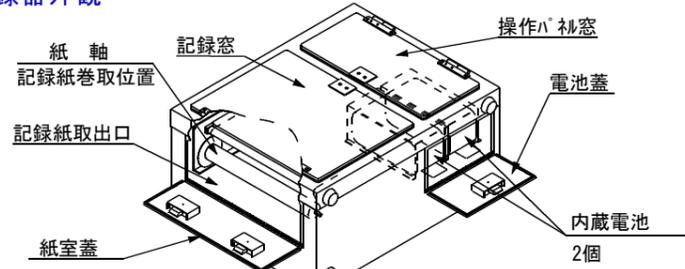
## ■ 操作パネル説明



## ■ 仕様

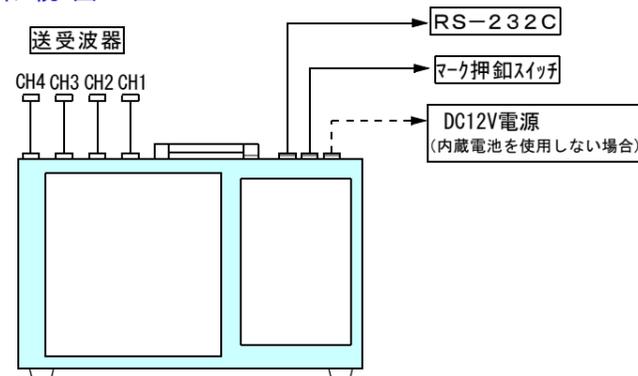
- |                  |  |
|------------------|--|
| 1. レンジ           | 0~45、20~65、40~85、60~105                            |
| 2. シフト           | 自動/手動 4段シフト  |
| 3. 測深範囲(可測深度)    | 送受波器下 1.0m ~ 水深 105m<br>但し、濁り・海底状況・使用条件により異なります。   |
| 4. 感度調整          | 自動/手動  |
| 5. 送受波器周波数       | CH1: 230kHz CH2: 190kHz<br>CH3: 210kHz CH4: 170kHz |
| 6. 送受波器指向角       | 16°: CH1, CH4 6°: CH2, CH3<br>(半減全角)               |
| 7. 精度            | ±(0.03+水深/1000)m以上                                 |
| 8. 発振回数          | 5回/sec   |
| 9. 記録紙           | 257mm幅×25m長 撥水性感熱記録紙                               |
| 10. 紙送り速度        | 40、60、80、120、160、200、220mm/分、早送り機能                 |
| 11. 記録縮尺         | 5mm/m  |
| 12. 仮定音速         | 1500m/sec  |
| 13. 音速補正         | 1500m/secに対し +6.0 ~ -6.0%迄、<br>(0.5%単位でステップ切替え)    |
| 14. 記録コントラスト     | 10段階設定   |
| 15. リミット設定       | 1~15m (1m単位でステップ切替)                                |
| 16. ゲート設定        | 海底記録に対し8段階切替(0.5~5.0m)                             |
| 17. モーターマーク      | 合成水深記録下(1~7m)                                      |
| 18. STC設定        | 設定0~9 (10段階)                                       |
| 19. タイムアウト設定     | OFF、10、20、30、60秒 間隔                                |
| 20. デジタル値出力      | RS-232C、連続(コマンド制御可)                                |
| 21. RS232Cフォーマット | 6パターン (PDR-1200と互換性有り)                             |
| 22. RS232Cポート    | 4800、9600、19200 bps                                |
| 23. 外部文字入力       | パソコン等から10文字入力可能                                    |
| 24. 文字出力         | レンジ、水深値、時刻 (ON/OFF可能)                              |
| 25. 発振線位置        | 吃水マークとして記録紙に表示 (ON/OFF)                            |
| 26. スケール目盛       | 0.2m、1.0m、5.0m、OFF                                 |
| 27. 吃水量調整        | 0.00~9.99m迄 (1cm単位)                                |
| 28. 使用環境         | 動作温度: -10°C~+45°C<br>湿度: 20~80% (結露無き事)            |
| 29. 電源           | 内蔵電池又は外部バッテリー(12V)                                 |
| 30. 内蔵電池         | ニッケル水素電池7000mAh 2ヶ内蔵                               |
| 31. 消費電力         | DC12V、1.5A 平均<br>但し、記録描画状況・動作温度により異なります。           |
| 32. 重量           | 13.0kg (内蔵電池含まず)                                   |
| 33. 外形寸法         | 453×360×214mm(突起部含まず)                              |

## ■ 記録器外観



PDR-8000S 外観

## ■ 系統図



## ■ 記録説明

